


所 属	現代社会学部 現代社会学科(子ども生活学専攻)		
主な担当科目	基礎技能(音楽表現)、保育内容(表現)、子どもの歌、幼稚園実習関連科目		
	氏 名	古根川 円	
	フリガナ	コネガワ マドカ	
	職 位	講師	
	学 位 等	教育学修士	
研究内容・社会業績等			
<p>(研究内容)</p> <p>1.イメージすることによる音楽表現・演奏技術の変化 2.音楽による感情伝達 3.音楽によるコミュニケーションと身体表現活動 などを主な研究テーマとしています</p> <p>(社会業績)</p> <p>1.文化庁主催「学校への芸術家派遣事業」において学校訪問コンサート 2006年 2.ブラティスラヴァ・カンマームジークオーケストラとピアノコンチェルト共演 スロバキアミルバツハ宮殿 2005年 3.防府市韓国春川交流団として韓国・春川市にて交流演奏会出演 2004年 4.(財)防府市文化振興財団こども合唱教室講師 2007年まで 5.スロバキアのスメタナ室内合奏団とピアノコンチェルト共演 2001年 6.ハンガリーリスト音楽院サマーセミナー修了演奏会出演 1998年 7.周南市国際交流団としてオーストラリア・タウンズビル市にて交流演奏会出演 1995年</p> <p>(審査員、委員、所属学会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口県学生音楽コンクール審査員、TYS学生音楽コンクール審査員、日本クラシック音楽コンクール審査員 萩市男女共同参画推進委員 日本音楽教育学会、日本音楽知覚認知学会、日本保育学会 			
論文・書籍・資格等			
<p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現者を育てるための 保育内容「音楽表現」ー音遊びから音楽表現へー (第4章執筆)、教育情報出版、2020年3月 <p>(学術論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域連携による大学生の学びの質に関する考察 至誠館大学研究紀要第7巻、p.77-84、2020年、単著 保育者志望高校生の幼児期における音楽経験ー保育者養成校の音楽カリキュラムを考えるー 至誠館大学研究紀要第5巻、p.101-111、2018年、単著 保育者養成校における音楽表現活動からの学びーアクティブ・ラーニングから協働へー 至誠館大学研究紀要第4巻、p.17-26、2017年、単著 幼稚園教諭・保育士、小学校教諭を目指す人のためのピアノ指導ー各進度別学生の主体的学びの構築に向けてー 梅光学院大学子ども学部子ども未来学研究第8号、p.71-80、2013年、共著 保育内容(表現)にみる「美しさ」とは何かー学生の授業実践記録からー 梅光学院大学子ども学部子ども未来学研究第7号、p.49-56、2012年、共著 ピアノ学習における音楽をイメージする有効性 山口芸術短期大学研究紀要第42号、p.17-25、2010年、単著 音楽心理学の動向について: 音楽知覚、音楽と感情、音楽療法を中心に 九州大学大学院芸術工学研究院紀要vol.12、p.83-95、2010年、共著 音楽で表現しうる感情を示す言葉の収集 日本音楽知覚認知学会大会資料、p.1-6、2009年、共著 イメージの喚起による音楽の創出ーピアノ指導の可能性への一考察ー 山口大学大学院教育学研究科修士論文、2008年、単著 <p>(CD制作)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育現場で聴かせたい「ピアノ名曲でこどもと遊ぼう」(模範演奏CD) ドレミ楽譜出版社、2010年初版 			
学生へのメッセージ			
<p>音楽は私たちのとても身近な存在です。嬉しいとき、悲しいとき、思い出の中に耳を澄ますと音楽がありませんか。音楽を自分から発信することで、世代・性別・国境を越えて誰とでも楽しく共有することができます。ピアノに限らず様々な方法による音楽でのコミュニケーション方法を一緒に考えてみましょう。</p>			